

他の人の大切さを認める / インターネットと人権

7

思いを伝えるのはむずかしい

1 ねらい

電子メールやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）など、インターネットを利用したコミュニケーションにおいて生じる問題について、その状況や原因などを考えることを通して、よりよいコミュニケーションのあり方について理解を深め、相手のことを考え尊重しようとする意欲・態度を養う。

2 準備するもの

- ワークシート
- ワークの場面2の①～③のメッセージを拡大したもの（黒板掲示用）

3 解説

インターネットは、電子メールやSNSに代表されるように、誰もが自由に情報の受信・発信ができ、世界と瞬時につながる便利なものです。総務省「平成28年版情報通信白書」によれば、13歳から59歳までの年齢層におけるインターネット利用状況は、各年齢層で9割を超えています。また、6歳から12歳までの年齢層においても7割を超え、全体的に増加傾向が続いています。このように、インターネット環境が整備され、多くの子どもたちがその利便性を享受しているという状況です。しかし、その一方で、インターネットの中では、他者への誹謗・中傷、差別を助長する表現、有害な情報、個人情報の流出など、人権侵害ともいえる多くの問題が発生しています。子どもたちの間でも、無料通話アプリやSNSなどに悪口や人を傷つける言葉を書き込むなどの問題も起こっており、いわゆる「ネットいじめ」は、子どもの人権を脅かす深刻な問題となっています。さらに、書き手に他人を傷つける意図がなくても、SNSの書き込みを読み手が誤解して、トラブルに発展してしまう事例も少なくありません。

平成28年の神奈川県いじめ防止対策調査会答申では、「無料通話アプリが関係しているネットいじめについては、（中略）お互いの顔が見えない状況での短文でのやりとりや隠語等の独特な言葉遣いやルールにより、誤解や曲解が生じやすく、結果的に『いじめ』を受ける子ども達の被害を大きくすることにつながっている」と指摘されています。さらに「コミュニケーションは本来、表情やニュアンス、動作等の複数の要素を複合することにより深みを増すものであるのに、短い文章だけで行われるネット上のコミュニケーションにはそのような要素が欠損しているため、奥行きのない非常にいびつなものになりがちである」と述べられています。

このワークでは、直接会うコミュニケーションと携帯電話のメッセージによるコミュニケーションを比較することで、どちらの場合でも、相手を大切にするという人権尊重の考え方が大切であることに気づき、小学生の段階から情報発信者として相手のことを考え、尊重する態度を養います。

4 進め方（展開例）45分

| 時間 | 学習の流れ（活動・内容） | 留意事項 |
|----------|---|---|
| 導入 6分 | <p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れの説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（4分）</p> <p>「表情リレー」</p> <p>①教室の列ごとにチームを作り、伝言ゲームの要領で指示された表情を順番に伝言して</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・声を出してはいけないことを確認する。 ・伝言する表情の指示書として、「みんなの |

| | | |
|-------------------|--|---|
| | <p>いく。その際、伝言を受ける人以外には表情が見えないようにする。</p> <p>②難しかったことやよく伝わったことなどを、全体に発表し共有する。</p> <p>③まとめの話を聞く。</p> | <p>前でほめられて照れ笑い」「宿題を忘れて苦笑い」「遅刻しそうだけど間に合っただけの笑顔」など微妙なニュアンスを含む文を用意する。</p> |
| <p>展開 31分</p> | <p>◆アクティビティ (31分) 「思いを伝えるのはむずかしい」</p> <p>①場面1・2の状況を聞く。</p> <p>②Cさんの返信を受け、Aさんが悲しくなった理由を考え、ワークシートに書く。</p> <p>③②について、全体に発表し共有する。</p> <p>④場面1と2のAさんの気持ちを比較し、ちがいを考え、ワークシートに書く。</p> <p>⑤④について、グループで意見交換をする。</p> <p>⑥自分ならどのように伝えるかを考え、ワークシートに書く。</p> <p>⑦⑥について、全体に発表し共有する。</p> | <p>・「場面1」は感情豊かに、表情や身ぶりをつけて朗読する。</p> <p>・「場面2」のふきだしの部分は朗読せず、①～③のメッセージを一枚ずつ黒板に掲示する。</p> <p>① あさって、いっしょにお祭りに行かない？ ② ムリ ③ ピアノの発表会</p> <p>・Cさんのメッセージ「ムリ」を掲示したあと、児童が反応する時間をとるとよい。</p> <p>・場面1では、Aさん、Bさんの様子が記述されていることに着目させ、表情や言葉の抑揚など非言語コミュニケーションの大切さを理解するように促す。</p> |
| | <p>◆まとめ (8分)</p> <p>・まとめの話を聞く。</p> | <p>・授業を通して児童から出された意見などをもとに、ねらいをおさえまとめる。</p> |
| <p>まとめ 8分</p> | <p>・相手と顔を見合わせたコミュニケーションでは、言葉だけでなく表情や様子から相手の心情を推測することができるため、意思疎通を円滑におこなうことができる。</p> <p>・メールなどでは表情や様子が伝えられないと同時に、短いメッセージとなりやすいため、誤解を招きやすく、より相手を思いやることが大切である。</p> <p>・相手の気持ちを全て理解することは難しいが、どちらの場合も、相手の気持ちを考え、行動することが重要である。</p> <p>※「相手を大切にするとともに、自分を大切にし、それを行動に表せる」という人権教育のねらいを理解させたい。</p> <p>・ふりかえりをワークシートに書く。</p> | <p>・時間があれば、理解の深まっている児童の感想を取り上げてもよい。</p> |

<参考資料など>

- ・「平成28年版 情報通信白書」総務省（平成28年）
- ・「神奈川県いじめ防止対策調査会 答申書」神奈川県いじめ防止対策調査会（平成28年1月）

思いを伝えるのはむずかしい

()年 ()組 名前 ()

夏休みのある日、Aさんは仲のよい友だちのBさん、Cさんをさそって、お祭りに行こうと思いました。

場面1

Bさんは近所に住んでいるので、直接さそいに行きました。

「Bさん、あさって、いっしょにお祭りに行かない？」

Bさんは、それを聞いて残念そうな顔で言いました。

「あさって？行きたいんだけど、実は明日から家族で旅行に行く予定なんだ。だから、あさってのお祭りは行かれないや。せっかく誘ってくれたのにごめんね。」

Aさんは残念に思いましたが、Bさんが申しわけなさそうに断る様子を見て、気にしないでほしいなと思って言いました。

「そう。分かった。家族旅行に行くなら、しかたがないね。旅行、楽しんできてね。」

場面2

Cさんは家が遠いので、ケータイでメッセージを送りました。

①

しばらくしてCさんから返信がありました。

②

③

Aさんは、残念に思うと同時に、ちょっと悲しくなりました。

1 Cさんの返信を見たAさんは、なぜ悲しくなったのでしょうか。

2 Bさんに断られたときのAさんの気持ちと、比べてみましょう。どんなちがいがありますか。またその理由も考えましょう。

3 もし、あなたがCさんだったら、どのようにメッセージを送りますか。

4 今日の授業を通して感じたことや、あなたがこれからの生活で気をつけようと思ったことについて書きましょう。